

| | | | |
|------|---|--|--------|
| 科目名 | 現代社会の諸問題 A | | |
| 英語科目 | ナンバリング | (https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus_search/#n) を参照 | |
| 開講期 | 春学期 | 開講学部等 | 現代社会学部 |
| | | 配当年次 | 1 年次 |
| | | 単位数 | 2 単位 |
| 教員名 | 東 園子, 足立 薫, 伊藤 理史, 荊木 聡, 奥田 睦子, 加藤 えみか, 木原 麻子, 滋野 浩毅, 惣脇 宏, 松永 智, 耳野 健二, 宮木 一平, 吉川 美代子, 脇浜 紀子 | | |

授業概要 / Course outline

本科目は、現代社会に生起する様々な問題についての講義を受けることで、受講生各自が社会への問題意識を養うことを目的とする。

本科目では、「地域社会学」「人間社会学」「メディア社会学」「健康スポーツ社会学」といった領域をもとに、外部講師を含む多様な教員のオムニバス形式で授業を行う。したがって、受講生は現代社会の諸問題を多角的に学ぶことができる。なお本授業は『現代社会の諸問題B』と共通の目的をもつが、具体的な学びの内容は異なる。

授業形態、授業方法等 / Course form・type

【授業形態】

対面授業

【授業方法】

講義

- ・ICTを活用した授業（形態：遠隔教育（ビデオ・オン・デマンド等））
- 遠隔授業（ビデオ・オン・デマンド等）

- ・実務経験のある教員による授業

本科目は本学の専任教員はもとより、客員の実務経験のある教員にも授業担当をしてもらう。

授業内容・授業計画 / Course description・plan

第1回：ガイダンスとイントロダクション（加藤 えみか）

本授業の目的を説明したうえで、授業全体の概要、受講の方法や成績評価の方法の説明をおこなう。あわせて、現代社会におけるアスリートの役割や社会的意義、またその環境について、広く明らかにする。

第2回：社会哲学の諸問題（耳野 健二）

現代社会の基本構造としての公共性などの問題を、社会哲学の視点から明らかにする。

第3回：地域社会における自然と文化に関する諸問題（足立 薫）

地域社会における人の暮らしと自然のかかわりを中心に、関連する諸問題を明らかにする。

第4回：現代社会における学校教育に関する諸問題（荊木 聡）

学校教育の場において教職員や子供たちが直面する諸問題を明らかにし、近未来社会における理想の教育環境について議論する。

第5回：現代社会における教育制度・政策に関する諸問題（惣脇 宏）

我が国の現状ならびに国際的観点をふまえ、現代社会における教育制度と教育政策をめぐる問題を明らかにする。

第6回：ジェンダーに関する諸問題（東 園子）

現代社会における性別に関する諸問題について、社会学の視点から明らかにする。

第7回：メディアと情報コミュニケーションに関する諸問題（脇浜 紀子）

現代社会におけるメディアの役割と機能を中心に、メディアに関連する問題を明らかにする。

第8回：現代社会における政治制度に関する諸問題（伊藤 理史）

現代社会における政治制度に関する諸問題を明らかにする。

第9回：場のデザインに関する諸問題（宮木 一平）

現代社会における場のデザインに関する諸問題を明らかにする。

第10回：現代社会の運動と医科学に関する諸問題（松永 智）

現代社会における運動の意義を、身体メカニズムの特性にもふれながら明らかにする。

第11回：子ども・障がい者・高齢者等のスポーツに関する諸問題（奥田 睦子）

地域社会における市民参加型スポーツを通じての健康づくり・地域づくりをとりあげ、ここに見られる諸問題を

明らかにする。

第12回： 現代社会におけるコミュニケーションに関する諸問題（吉川 美代子）

放送メディアの世界を取り上げ、女性のキャリアや職業人としてのあり方、あるいはそれらに伴う課題を明らかにする。

第13回： 現代社会の働き方とキャリアに関する諸問題（木原 麻子）

現代のさまざまな働き方やキャリアのあり方をめぐる諸問題を明らかにする。

第14回 テーマ：現代社会に関する諸問題（ゲスト講師（予定）、滋野 浩毅）

現代社会における諸問題を中心に、ゲスト講師にお話しいただく。

★オンデマンド 地域社会の諸問題（滋野 浩毅）

現代社会における地域社会の問題を取り上げ、その解決に向けて各地域で取り組まれている地域活性化をめぐる諸問題を明らかにする。

事前・事後学修/Preparation and assignments

※ 事前学修は各授業90分、事後学修も各授業90分必要である。下記を確認し、しっかりと事前・事後学修を行うこと。

第1回

〔事前学修〕 シラバスをよく読み、現代社会における何かひとつの問題をインターネット等で調べておくこと。

〔事後学修〕 学修内容を復習し、自分でまとめておくこと。また、授業で扱われた問題について、自分の言葉で説明し、それに対する自身の意見をまとめておくこと。

第2回～第14回、★ オンデマンド

〔事前学修〕 インターネットや新聞等を使い、授業で扱われるテーマに関連する記事を読んでおくこと。

〔事後学修〕 学修内容を復習し、自分でまとめておくこと。また、授業で扱われた問題について、自分の言葉で説明し、それに対する自身の意見をまとめておくこと。

授業の到達目標/Expected outcome

- ・現代社会に生起する諸問題を認識し、理解できるようになること。
- ・授業で扱われた問題について、自分の言葉で説明し、それに対する意見を述べるようになること。

身につく資質・能力/Competencies to be attained

- ・幅広い教養
- 専門知識・専門技能
【現代社会学部 現代社会学科】
 - ・社会学をはじめとする社会科学の応用知識

評価方法/Evaluation

平常点（授業で課す小テスト）100%

教材/Text and materials

教科書はなし。参考図書等は、授業内で教員がそのつど紹介する。

質問や相談の方法/Instructor contact

各授業内容に関する質問・相談は、各教員が授業後に対応します。

本科目全体への質問は、科目担当者の加藤（メールアドレスをmoodleに記載）まで連絡してください。